

2026年5月12日

第65回全日本教職員バドミントン選手権大会のスコアリングシステムについて

(公財)日本バドミントン協会(BAJ)から2026年5月1日付で加盟団体向けに「BWF総会決定を受けた「3ゲーム×15点制」の扱いについて」の通知があり、全日本総合バドミントン選手権大会の出場権が獲得できる全日本教職員バドミントン選手権大会は、個人戦一般の部(男子・女子の各単複)で15点×3ゲーム制で実施することになりました。また、本大会は、団体戦や年齢別の個人戦の競技がありますが、一つの大会で複数のスコアリングシステム(21点×3ゲーム制との併用)があることは不自然であり、大会運営上の支障も考慮し、**すべての種目を15点×3ゲーム制で実施**します。

変更点は「BAJ BADMINTON RULE BOOK 2026」にある競技規則の付録3の内容を参照してください。

具体には、スコアが14点オールになった場合は、その後最初に2点リードしたサイドの勝利

スコアが20点オールになった場合は、21点目を得点したサイドの勝利

第3ゲームは、どちらかのサイドが8点に達したときエンドをかえる。

すべてのゲームで一方のサイドのスコアが8点になったとき、60秒を超えないインターバルが認められる。

以上